

# Chance Challenge Change

## ～Stay Positive～

3年部だより

令和8年6月3日

第3号

### 修学旅行を振り返って

#### ◆心地よい三日間に感謝を込めて

三日間の修学旅行が無事に終了いたしました。この旅行を通じ、生徒たちが刻一刻と成長していく姿を間近で見守ることができ、教職員一同、大きな喜びを感じています。ありがとうございました。

出発前、私たちは「自律他尊～目配り・気配り・心配り」というスローガンを掲げました。楽しい時間の中でも自分を律し、他者を思いやる。この目標に向かって、生徒たちは時に悩み、時に気付きを得ながら、自分たちの手で素晴らしい三日間を作り上げました。最終日の班別研修を終え、京都駅で「おかえり」と迎える私たちに、充実した表情で「ただいま」と返してくれた生徒たちのあたたかさは、この旅行の成功を物語っていました。

京都駅での学年集合写真

#### ◆三日間の軌跡と成長

##### 1日目:期待と課題のスタート

朝の団体待合室での集合やホームでの整列は、事前の練習の成果もあり非常にスムーズでした。奈良では大仏の大きさや鹿とのふれあいに素直に感動する姿が見られましたが、一方で班別行動の乱れやバス内での声のボリュームなど、楽しさが勝ってしまい「自律」に課題が残る場面もありました。夕食会場への移動に時間がかかってしまい、大人数が移動するには多くの時間が必要だという団体行動の難しさも学びました。

しかし、お宿いしちょうで自発的にスタッフに声を掛け、食器の片付け方を確認しながら、まとめて片付けるなど、「目配り」ができる姿も見られました。

東大寺での  
グループ写真

##### 2日目:反省を力に変える

1日目の夜の実行委員会での反省を受け、朝から時間を意識した行動が定着しました。リーダーに頼り切るのではなく、サブリーダーのように周囲に声を掛ける生徒が増えたのは大きな収穫でした。点呼のスピード向上やこまめな健康観察など、自分たちで考えて動く「気配り」・「心配り」へとステップアップすることができました。

全クラス、北野天満宮にて昇殿参拝を行いました。学問の神様である「天神さん」にそれぞれ、お願いをして来ました。

北野天満宮での  
グループ写真

##### 3日目:成長

班別タクシー研修では全班が無事に京都駅に帰って来ることができました。帰りの新幹線内でも、一般のお客様を思いやり、自分たちの行動を修正しようとする高い意識が見られました。三日間を通じ、生徒たちは自分たちの行動を客観的に捉え、改善していく力を身に付けました。

班別タクシー研修では、それぞれが行きたい寺院を巡り、学びを深めて来ました。

二条城での  
グループ写真

## ◆修学旅行内の3C (Chance・Challenge・Change)

修学旅行出発前に、各クラスで「修学旅行という Chance に、あなたのクラスは何に Challenge して、どう Change しますか?」というテーマで話し合いをしました。その話し合いで決まった各クラスの目標と修学旅行後の振り返りの一部を紹介します。

|  |  |
|--|--|
| <p>【1組】<br/>           &lt;&lt;何に Challenge したいか?&gt;&gt;<br/>           自分で判断して<br/>           行動することに Challenge する!<br/>           &lt;&lt;どう Change したいか?&gt;&gt;<br/>           個人の判断力を高め<br/>           一人一人が輝けるクラスに Change する!</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人が判断して行動や呼び掛けをすることが増え、それに応えられる仲間も増えていったと感じた。</li> <li>1日目の反省からより積極的に様々な人が前に立ち、呼び掛けなどをすることができた。それが一人一人が輝いているにつながった。</li> </ul>          |
| <p>【2組】<br/>           &lt;&lt;何に Challenge したいか?&gt;&gt;<br/>           一人ひとりが先を見通して<br/>           行動することに Challenge する!<br/>           &lt;&lt;どう Change したいか?&gt;&gt;<br/>           学年の「基準」になることに Change する!</p>                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>1日目の失敗を生かして、自分自身で考えて行動し、修正することができたのが良かった。</li> <li>集合時の点呼や健康観察のとき、素早く終わらせることができるようになってきて、「基準」になれていると感じた。</li> </ul>                       |
| <p>【3組】<br/>           &lt;&lt;何に Challenge したいか?&gt;&gt;<br/>           社会のルールやマナーを守る<br/>           (3K する)ことに Challenge する!<br/>           &lt;&lt;どう Change したいか?&gt;&gt;<br/>           みんなが楽しんで学べるように Change する!</p>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>「時間を守れなかった」という反省から、自分たちで考えて行動に移して、修正することができたのは良かった。</li> <li>仲間との会話の中で「帰りたくない!!」「修学旅行があと2、3日延びて欲しい!」という声が聞こえたからみんなが楽しめていると思った。</li> </ul> |
| <p>【4組】<br/>           &lt;&lt;何に Challenge したいか?&gt;&gt;<br/>           自分の役割を全うすることに<br/>           Challenge する!<br/>           &lt;&lt;どう Change したいか?&gt;&gt;<br/>           自分の行動に責任を持てる<br/>           集団になることに Change する!</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>目標であった「自分の役割を全うする」以上に気付いて行動できる人が増えた。集団の中で困っている人がいたら「誰一人取り残さない」精神で寄り添うことができた。</li> <li>スローガンや判断基準に立ち返れて責任を持って行動することができていた。</li> </ul>      |

## ◆「不完全の美学」を胸に

修学旅行の事後集会では、龍安寺の石庭から学んだ「不完全の美学」について話をしました。龍安寺の石庭では15個ある石が15個見えることはなく、欠けてしまうことから、「私たちは決して完璧ではない。しかし、不完全だからこそ、完全を目指して努力し続けることに価値がある」という話でした。

この修学旅行は大成功だったと思います。しかし、それに満足することなく、これからの学習(テスト)や進路選択、部活動や大会、合唱発表会や運動会といった行事などで、成長した部分をさらに伸ばし、より高め合える集団として、これからの日常を歩んでいくことを願っています。

その中で、この修学旅行で得た「自律他尊～目配り・気配り・心配り～」も大切に続けていけたらと考えています。

最後になりましたが、修学旅行の実施にあたり、多大なる御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございました。心身ともに一回り大きく成長して帰ってきたお子様の姿を、ぜひ御家庭でも認め、褒めてあげてください。

今後も生徒一人一人が中学校卒業後の次のステップへと力強く進んでいけるよう、引き続きあたたかいサポートをよろしくお願い申し上げます。

妙心寺での  
グループ写真